

総務省情報通信政策研究所では、学術雑誌『情報通信政策研究』の第7巻第1号を「**創造的AIの進化とUGCエコノミーの発展**」をテーマとした特集号とすることとしました。
各分野からの第一線の研究者の寄稿論文の掲載を予定するとともに、投稿論文等(査読付)を広く募集いたします。

学術雑誌『情報通信政策研究』 (2017年11月8日創刊 Online ISSN 2432-9177/Print ISSN 2433-6254/ISSN-L 2432-9177)

- 情報通信政策に関する基礎的な調査及び研究の発展に資することを目的として情報通信政策研究所が刊行する学術雑誌(学術誌)。
- 研究所からの依頼を受けた有識者等からの寄稿論文及び研究者等からの投稿論文等を逐次公表。
- 研究所ウェブサイト上にオンラインジャーナルとして掲載。年度ごと2号に区分(11月頃、3月頃刊行)し、年1回製本誌を刊行(6月頃)。

○ 情報通信政策研究所ウェブサイト-学術雑誌
<https://www.soumu.go.jp/iicp/journal/index.html>

○ J-STAGE(科学技術情報発信・流通総合システム)
<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/jicp/-char/ja/> 

第7巻第1号 特集

(詳細はこちら) https://www.soumu.go.jp/iicp/journal/jicpinfo_07-01.html

【テーマ】

創造的AIの進化とUGCエコノミーの発展

- 刊行予定 : 2023年11月頃
- 投稿締切 : 2023年7月3日(月)正午

趣旨等

文章を打ち込むだけでAIが画像を生成し、絵画や漫画などの作品が出来上がるなど、AIによるコンテンツ生成が話題になっています。また、ソーシャルメディアや動画配信サービス、さらにはメタバース等の仮想空間など、生成したコンテンツの発表の場も多様化し、さらにはWeb3と呼ばれるプラットフォーム依存からの脱却の動きも見えてきています。

このように、ユーザーがコンテンツの作り手になる、ユーザー生成コンテンツ(User Generated Content。以下「UGC」と言います。)の経済圏が大きく広がってきている中で、従来の企業や専門のクリエイターだけがコンテンツを作成・保有していた時代とは異なる課題が浮かび上がってきていると考えられます。

本特集では、「創造的AIの進化とUGCエコノミーの発展」をテーマとし、第一線の研究者に執筆を依頼するとともに、広く投稿論文等(査読付)を募集することとしました。投稿論文等(査読付)は、上記テーマについて、**UGCの経済圏の広がりがもたらす社会への影響の考察、そういった社会で対応すべき課題や今後の可能性について関連するものであれば、学際的なものも含め幅広く歓迎いたします**(その主たる部分が理学、工学その他の理科系統の分野のものを除きます。)

皆様からの積極的な御投稿をお待ち申し上げます。

「特別寄稿」執筆者(予定)

内山 隆 先生 (青山学院大学総合文化政策学部教授)

(五十音順)

栄藤 稔 先生 (大阪大学先導的学際研究機構教授)

國領 二郎 先生 (慶應義塾大学総合政策学部教授)

新保 史生 先生 (慶應義塾大学総合政策学部教授)

田村 善之 先生 (東京大学大学院法学政治学研究科教授)

過去の特集テーマ

- ・第2巻第1号(2018年12月28日刊行) 「AIネットワーク化と経済・社会・法システムの変容」
- ・第3巻第1号(2019年11月29日刊行) 「AI/IoT時代のプライバシー・個人情報保護」
- ・第4巻第1号(2020年12月1日刊行) 「データエコノミーの将来 ～期待と課題～」
- ・第5巻第1号(2021年11月30日刊行) 「With/Afterコロナ時代におけるICTの役割と利活用」
- ・第6巻第1号(2022年12月22日刊行) 「仮想空間の今後の可能性—社会・経済・法・倫理」

発行機関情報

総務省情報通信政策研究所

東京都千代田区霞が関2-1-2 中央合同庁舎第2号館 (調査研究部)

e-mail: journal.iicp@soumu.go.jp

電話: 03-5253-5496

